

政策連合の新規案件について

道州制等都道府県のあり方を考える研究会

テーマ	取組内容	提案県	取組可能県
1 愛護動物の救護に係る連携	<p>・東日本大震災においては、広域かつ長期にわたり被害が発生し、多くの愛護動物が被災したことから、被災地では、愛護動物の救護を行うための人員や、餌・ケージ等の物資、被災した愛護動物の保護収容を行うための施設が不足し、近隣都県等による支援が行われた。</p> <p>・九州・山口各県においても、同様な大規模災害が発生した際に、被災県単独では対応できない場合が想定されることから、被災した愛護動物の救護活動を広域的かつ円滑に行うため、相互応援体制を整備する必要がある。</p> <p>・そのため、新たに政策連合を立ち上げ、応援協定の締結を含め検討を行う。</p> <p>(想定される検討項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○救護の対象とする愛護動物の範囲 ○必要とされる応援の内容 (職員の派遣、餌・ケージ等の確保) ○民間団体に支援を求める救護の内容(獣医療等) ○救護マニュアルの策定 等 	福岡県	九州・山口 全県
2 社会資本の適切な維持管理(アセットマネジメント)の推進	<p>・地方公共団体が管理する大量の社会資本(道路、河川堤防、橋梁、港湾施設等)は、今後、高度経済成長期に建設されたものをはじめ、その多くが更新時期を迎える。</p> <p>・今後増大することが予想される社会資本の維持管理費については、各県で必要な予算の確保に努めていく必要があるが、一方で、これまで以上に効率的・効果的な維持管理計画を策定し、総合的視点から適切な維持管理手法の構築を図っていくことが求められる。</p> <p>・そのため、新たに政策連合を立ち上げ、九州・山口各県で蓄積された社会資本の適切な維持管理手法(アセット・マネジメント)に関する調査・研究や情報交換を行い、九州全体における社会資本の維持管理の効率化を図る。</p> <p>(主な調査・研究及び情報交換の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○維持補修計画の優先度の検討 ○点検スケジュールの検討 ○点検履歴付き台帳の整備状況 等 	大分県	九州・山口 全県